

## 2 本市の概要

### (1) 本市の概況

#### ① 市の沿革

本市は、古くから周防の国の国府として栄え、また、交通の要衝として発展した歴史のあるまちです。

昭和11年に防府町、中関町、華城村、牟礼村の4つの町村が合併し、「防府市」が誕生しました。昭和14年から昭和30年にかけて、西浦村、右田村、富海村、小野村、大道村と合併し、現在の姿となりました。

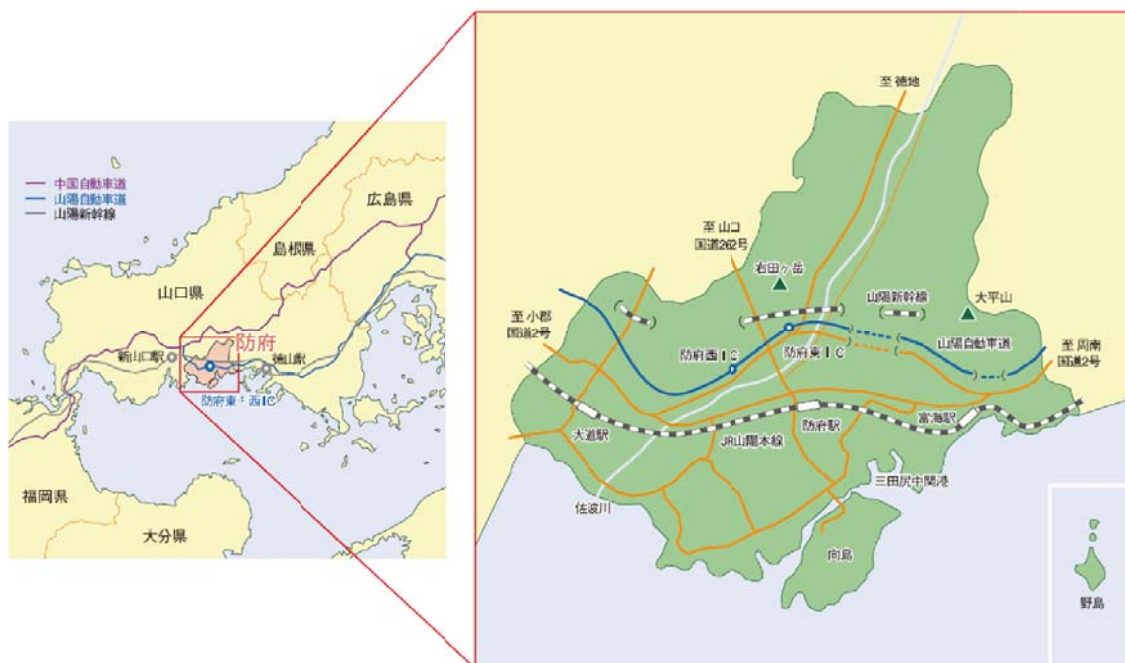
かつて栄えていた製塩業が昭和35年に廃止されてから、広大な跡地の利用促進を図るため、昭和39年に周南工業整備特別地域の指定を受け、企業立地に向けた整備を進めた結果、多くの企業が進出し、臨海工業地帯を形成してきました。

昭和57年には大規模自動車組立工場が操業を開始し、今では県内有数の製造品出荷額を誇り、防府の発展を支えています。

#### ② 位置・地勢

本市は、本州の西端、山口県の瀬戸内側のほぼ中央部に位置し、県内最大の平野をもち、一級河川佐波川の下流に開けています。県庁所在地である山口市や、県東部の主要都市である周南市と接しています。

市域は、東西20.1km、南北20.4kmに及び、総面積は188.59km<sup>2</sup>です。北部には中国山地が連なり、市の中央部を流れ瀬戸内海に注ぐ一級河川佐波川を挟んで、東には市の最高峰大平山が、西には右田ヶ岳が対照的にそびえ、南部の広大な平野部には市街地が広がっています。

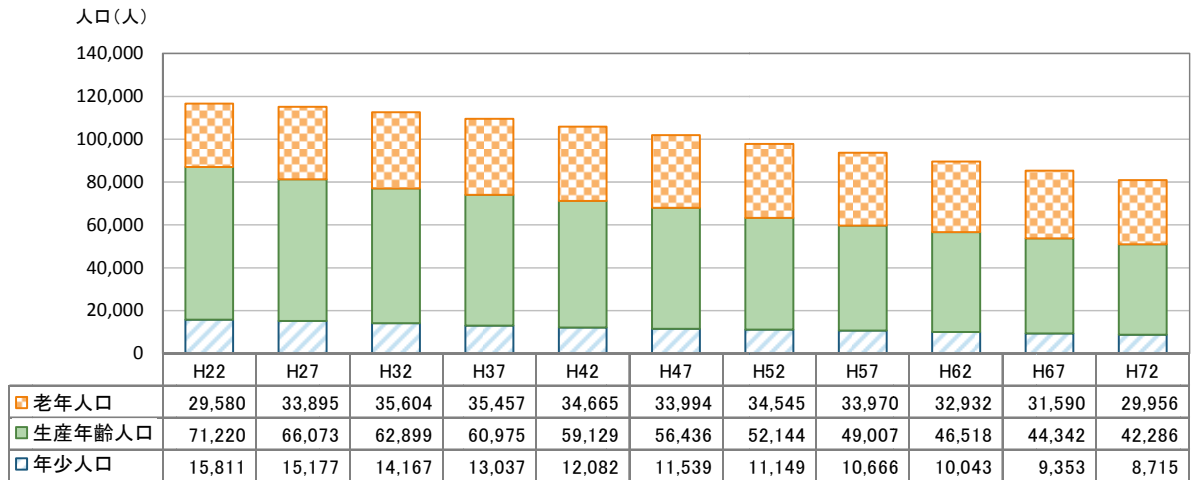


【出典】第四次防府市総合計画「防府まちづくりプラン2020」

## (2) 人口動向

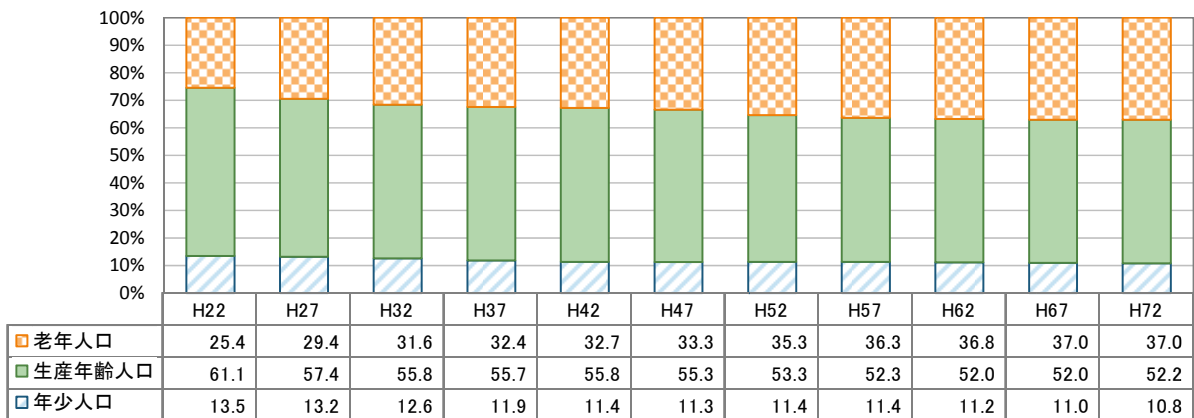
本市の総人口は平成 72 年には約 8 万 1 千人になるとされています。また、年少人口や生産年齢人口は年々減少する一方、老年人口の割合は増加するとされています。平成 22 年の老年人口の割合は約 25%でしたが、平成 72 年には 37%まで上昇するとされています。

図表 2 年齢階層別人口数の推計



【出典】防府市人口ビジョン(平成 27 年 10 月)

図表 3 年齢階層別人口割合の推計



【出典】防府市人口ビジョン(平成 27 年 10 月)

※年少人口…0 歳～14 歳の人口、生産年齢人口…15 歳～64 歳の人口、老年人口…65 歳以上の人口

### (3) 財政状況

本市は、今後、人口減少・少子高齢化等による税収の低下や扶助費等の社会保障費の増加が見込まれることから、厳しい財政状況になることが予測されます。

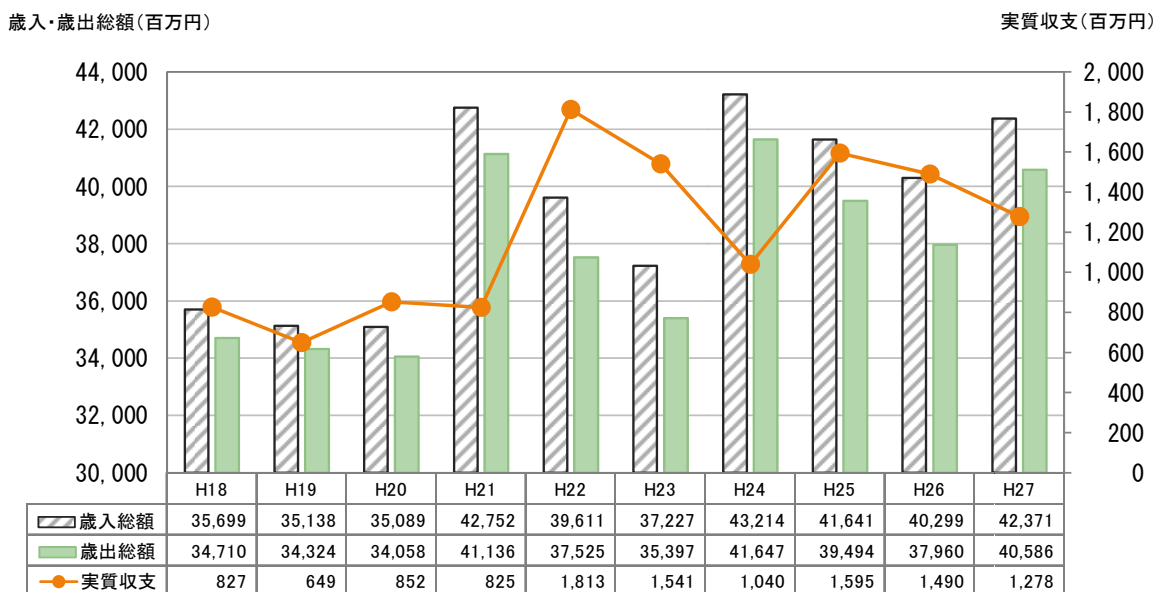
このような状況下において、公共施設等の修繕・更新費用を市債発行により賄えば、市債現在高の更なる増加による財政の硬直化を招く恐れがあります。

#### ① 決算収支の推移・内訳

本市の決算規模を普通会計ベースで見ると、平成 27 年度では、歳入総額は約 424 億円、歳出総額は約 406 億円となっており、平成 24 年度以降は 400 億円程度の水準で推移しています。

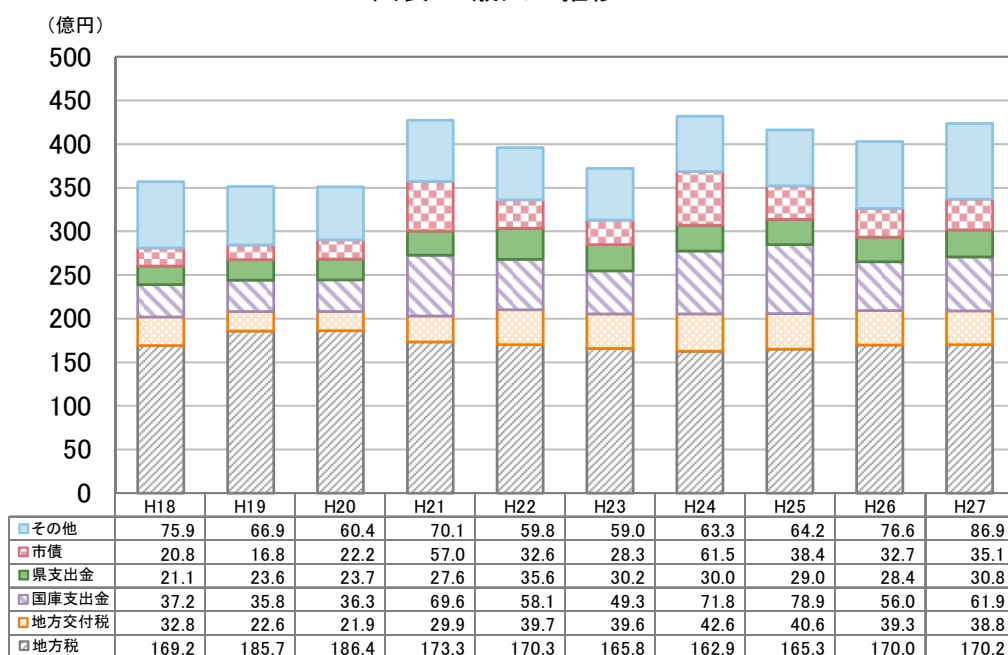
歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、比較的高い水準で推移していますが減少傾向にあります。

図表 4 決算収支の推移



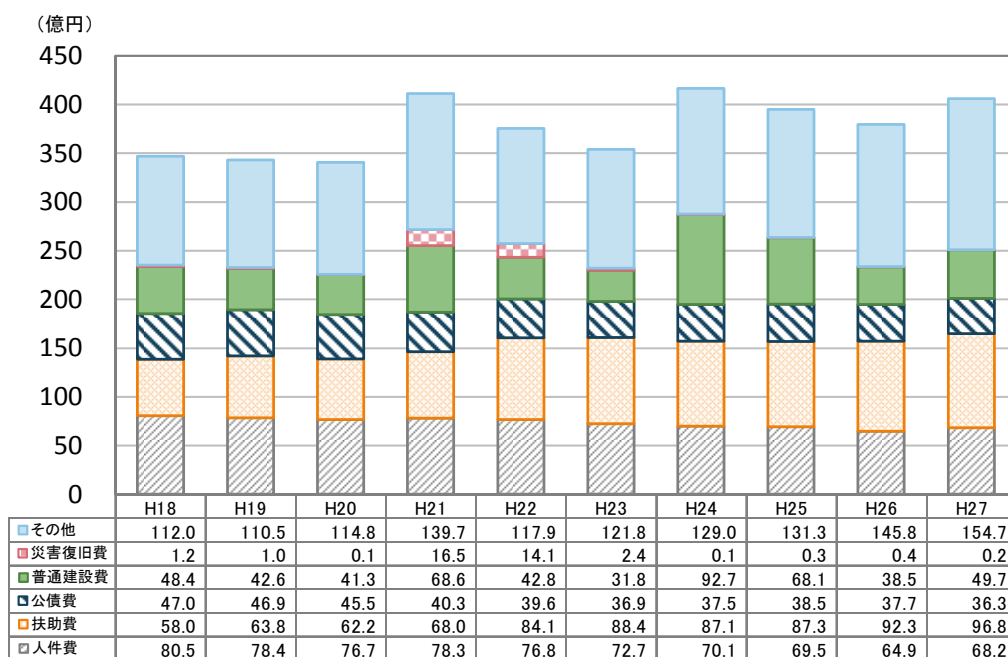
【出典】地方財政状況調査

図表 5 歳入の推移



【出典】地方財政状況調査

図表 6 歳出の推移

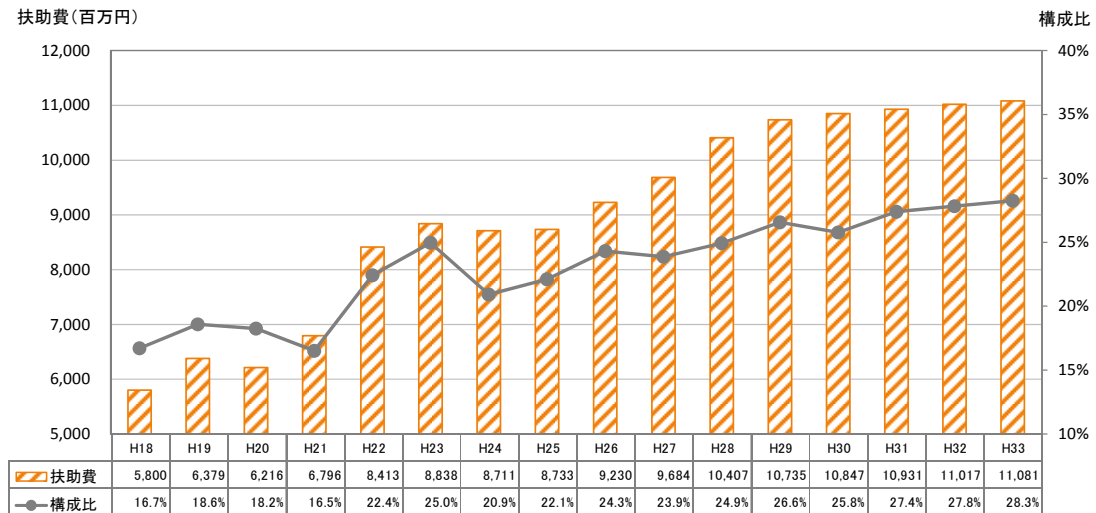


【出典】地方財政状況調査

## ② 扶助費の推移及び見通し

扶助費は、増加傾向にあり、平成 27 年度では平成 18 年度に比べて約 1.6 倍に増加しています。今後も老年人口の割合が増加すると予測されていることから(P4 図表 3 参照)、扶助費の更なる増加が見込まれます。

図表 7 扶助費の推移及び見通し

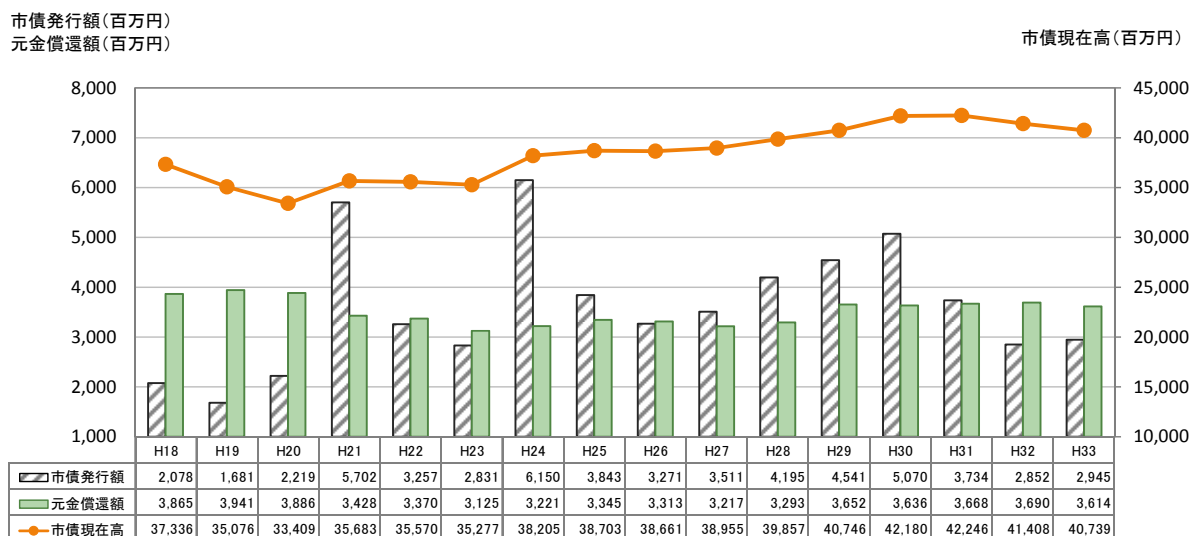


【出典】平成 27 年度までは地方財政状況調査、平成 28 年度以降は防府市中期財政計画(平成 28 年 12 月)

## ③ 市債現在高の推移及び見通し

市債現在高は、平成 20 年度までは減少傾向にありましたが、平成 21 年度にスポーツセンター体育館、平成 24 年度に廃棄物処理施設を建設したことなどにより増加しています。今後も大型事業の実施により更に増加すると見込まれます。

図表 8 市債現在高の推移及び見通し



【出典】平成 27 年度までは地方財政状況調査、平成 28 年度以降は防府市中期財政計画(平成 28 年 12 月)